

猫ちゃんの腎臓のはなし

猫ちゃんの腎臓は悪くなりやすい？

老猫の三分の一は腎不全だと言われています

猫は本来暖かい乾燥した地域の動物です。水分をできるだけ再吸収して、濃縮尿を少量出すように腎臓は常に働いています。腎臓を酷使しているのです。

しかし猫さんのネフロン（腎単位）数は人や犬に比べその数がとても少ないので年齢とともに腎不全になっていくリスクが高いのです。



ネフロンの数	
ヒト	両方で200万個
犬	両方で80万個
猫	両方で40万個

腎不全は早期発見が難しい！

腎臓は予備能力が高いゆえに全体の三分の二のネフロンが無くなるまで症状がでません！

残り三分の一でようやく尿が薄くなり、水を多く飲むようになります。

残り四分の一以下になってようやく血液検査で異常が見つかり、食欲不振、やせてくる、脱水、便秘、胃液嘔吐、口内炎、悪性貧血と症状が重くなっていくのです。

もうそのときには既に末期です。維持していくことは難しく皮下補液で尿毒症を緩和することぐらいしかできません。腎臓はもう元には戻りません。早期に発見して腎臓を大事に使ってもらうよう維持療法を始めることが大切です



そもそも腎臓の機能とは

私たちは食べることで栄養を取って生きていますが、食べ物を自分の血肉に変換するには大量の老廃物が発生します。

この老廃物をおしっこにして外にださなければ体に毒がたまって尿毒症になってしまいます。

腎臓は血液を濾過して老廃物をおしっこに作り替えてくれる大事な臓器です。

腎臓はおしっこの中から必要な水や物質を再吸収しておしっこを濃縮する役目も持っています。

血圧や血を作るホルモンも出していて腎臓が常に一定も状態で働けるように体を調節しています。

これらの腎臓の機能の最小単位を**ネフロン**と言います。

ネフロンは大きくわけて血液を濾過する糸球体と水や必要な物質を再吸収する尿細管でできています。

腎不全になるとヒトは糸球体が障害されて無尿になりやすく**猫では尿細管の障害により薄い大量の尿が出やすくなります。**

ここからが大事！腎臓を長持ちさせるには！

一番なのは早期発見です。症状を出してからでは遅いのです。朝一番の一番濃いおしっこの比重を計ってみませんか？

元気なうちから定期的に尿検査をしましょう。

低リン食のすすめ

これは有名な話ですが、低リン食を慢性腎不全の猫さんに与えると残りの寿命が2倍になります。一方でニボシなどはリンが多くお勧めしません。

ただし、症状がでるかでないかの初期からはじめたほうがいいのです。
 末期腎不全になると体の衰弱が激しくなり、食欲不振と戦いながらいかに栄養をとってもらうかの苦労が始まります。
 ながく元気でいてもらうために今日からできることを始めませんか？

リンの働き	骨や歯を作る。糖質の代謝を高める。ナイアシンの吸収を助ける。
リンの欠乏症	リンは色々な食品に含まれ、普通の食事で不足することはない。食品添加物として多用されていて、摂り過ぎの方が問題。
リンの過剰摂取	リンを摂り過ぎると、骨からカルシウムが放出され、骨のカルシウム量が減少する。一腎臓の石灰化を招き寿命を縮める

リンの多い食品ベスト32 (水分が40%以上の食品で)						(水分40%未満のベスト8)			
しらす干し (半乾燥)	86	しらす干し (微乾燥)	47	いわし(油漬)	37	豚レバー(肝臓)	34	ベーキングパウダ	370
プロセスチーズ	73	たらこ(焼)	47	ししやも	36	まぐろ(めばち)	33	煮干し	150
いわし(丸干)	57	あゆ(天然/焼)	46	桜えび	36	カマンベールチーズ	33	たたみいわし	140
たまご(卵黄)	57	キャビア	45	わかさぎ	35	牛肉(レバー)	33	するめ	110
いくら	53	あゆ(養殖/焼)	43	ハム(ロース)	34	伊勢えび	33	脱脂粉乳(粉)	100
いかなご	53	しらこ	43	とびうお	34	あじ(焼)	32	干しえび	990
すじこ	49	うに	39	ハム(ボンレス)	34	車えび	31	高野豆腐(乾)	880
きんめだい	49	たらこ(生)	39	はまぐりの佃煮	34	まぐろ(びんなが)	31	パルメザンチーズ	850